

<b>&lt;校訓&gt;</b> 高志共生	<b>大庄中通信</b>	大庄中学校 H23年度 第5号 (H23. 9. 6・火)
---------------------------	--------------	-------------------------------------

## さあ2学期

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中、大庄中の生徒が大きな事故や事件に巻き込まれたという連絡もなく、無事に2学期のスタートができたことは、本当によかったと思います。

今年も、猛暑の夏休みでしたが、始業式の日に登校してきた生徒の皆さんの顔を見てみると、きっとよい夏休みを過ごせたのだろうな、と思いました。

夏休み中は、クラブ活動をしている人や、各学年の学習相談日に登校して苦手なところの勉強を頑張った人の顔を見ることがありました。クラブでは、夏休みに入ってからすぐの阪神大会、県大会、新人大会などで優秀な成績をおさめた人の賞状を始業式の日に披露しました。大会の主な結果を記載します。

吹奏楽部 兵庫県吹奏楽コンクール東阪神地区大会 銀賞

剣道部 尼崎市青少年剣道錬成大会 団体戦中学校男子 準優勝

尼崎市中学校剣道新人戦 男子団体戦 第3位

水泳 県中学校学年別大会 1年男子総合優勝

1年男子100m平泳ぎ 優勝 畑下昂平



## 新体操の全国中学校選手権大会を見て

夏休みの8月18日から3日間、尼崎市記念公園のベイコム総合体育館で全国中学校新体操選手権大会がありました。私は大会役員としてこの大会に携わる機会があり、貴重な経験をしました。

### 新体操の選手のさわやかな挨拶と礼儀正しさに驚き

今回、今までテレビでしか見たことのない新体操を始めて間近に見ることができました。全国大会ですから、選手の華やかな演技も素晴らしくて、「何であんなことができるの？」とびっくりするようなこともたくさんありましたが、一番驚いたのは、選手だけでなく審判や競技役員の人たちの挨拶の素晴らしさと礼儀正しさでした。どの選手もどの役員・審判の人も、どこですれ違っても、さわやかに「おはようございます」、「こんにちは」、「お疲れ様です」などと、さわやかな挨拶をしてくれました。全国のトップ級になる選手は、競技力だけでなく挨拶も素晴らしいのだな、ということに改めて実感しました。

こんなに気持ちのいい挨拶をしてもらった人は、その相手に間違いなくいい印象を持つはず。これは、人間関係を築いていく上で、すごく得をします。いい印象を持ってもらって損をすることはありません。大庄中にも、気持ちのいい挨拶のできる生徒がたくさんいます。気持ちのいい挨拶が自然にできる人は、これからの人生のいろいろな場面で、きっと得をするだろうな、ということも感じました。

## 新体操の選手の話聞く姿勢・態度がすごい

また、開会式や閉会式で選手たちが話を聞く態度や姿勢も本当に素晴らしいものでした。姿勢や歩き方がきれいなのは、新体操の選手ですから当たり前といえば当たり前ですが、しっかりと背筋を伸ばして顔を上げて前を向いて話を聞き、演台で挨拶をする人が「おはようございます」と言えば、必ず「おはようございます」と会釈をして挨拶を返し、式の間中も体育座りのまま姿勢が崩れないのは本当にすごいなと思いました。

毎日の厳しい練習で身体を鍛えているから、姿勢が崩れないのでしょうね。兵庫県から出場したあるチームが、開会式の前日に式のリハーサルが終わってから行っていた練習のウォーミングアップ（ランニングやストレッチなど）の激しさにも驚きました。全国大会の本番2日前の練習で、新体操そのものの練習に入る前に、あんなに激しいトレーニングに取り組むという姿勢に、目指しているところの高さを感じました。



### 練習会場係として協力してくれた女子バスケットボール部

この大会では、大庄中の女子バスケットボール部の人たちも、練習会場となった大庄体育館での練習会場係として協力してくれました。ありがとうございました。

## 夏休みの誇らしいひと時

7月の終わりに、県中学校総合体育大会を見に行くことができました。県下の他市の先生たちと何競技かを見て回りました。その日の終わりに、三田市で開催されていたバドミントン競技を見終えて、視察のバスに戻ろうとしていたときのことで。後ろから「校長先生～」と呼びかける声がありました。何と大庄中のバドミントン部の3年生の二人ではありませんか。サブバックを持って、きちんとした服装で笑顔で話しかけくれる自分の学校の生徒が、とても誇らしく思えた夏のひと時でした。

## 充実した2学期に

2学期も、合唱コンクール・文化発表会、2年生のトライやるウィーク、球技大会（3年）など大きな行事が予定されています。行事に燃えるのはいいのですが、一番気候も良い時期ですし、中学生の本業である毎日の学習にしっかりと取り組むことを最優先してほしいなと思います。

3年生は12月に進路選択が控えています。公立高校の入試は、今の複数選抜・特色選抜という新しい入試制度が始まってから、毎年難しくなっています。また、今の1年生の人が受検をする2年後は、公立高校の校区再編が予定され、入試が一段と難しくなることが予想されています。

それぞれの夢や希望する進路を実現するために、また、進路選択で後悔することのないように、今から積極的に毎日の学習に取り組むようにしてください。

「やればできる」はず。自分の可能性をつぶしたり、伸ばさないのは、とてももったいないことですから。

(文責:校長 福井 隆夫)